|  |
| --- |
| 第１回　天理市総合計画審議会 |
| 日　時 | 令和６年２月19日（月）　15：00～16：15 |
| 場　所 | 天理市役所５階　５３３会議室 |
| 出席者 | 委　員　伊藤委員、吉田委員、板倉委員、内田委員、松村委員、倉持委員、辻沢委員、中田委員、藤山委員、山添委員、朝廣委員、秋山委員、中嶌委員、松井委員　　　　中土オブザーバー事務局　天理市…上田公室長、中田課長、細田課長補佐、仲本係長、湊主任主事ランドブレイン株式会社…山北、清水 |
| 次　第 | １．開会２．市長挨拶３．委員紹介４．会長選出５．天理市第６次総合計画後期基本計画の策定（諮問）６．案件-１．会議の公開、会議録の公表について-２．天理市第６次総合計画策定方針について７．閉会 |
| 資　料 | １．天理市総合計画審議会委員名簿２．席次表３．天理市総合計画審議会条例４．天理市議会の議決すべき事件に関する条例５．天理市総合計画審議会傍聴規程（案）６．ホームページ掲載イメージ７．天理市第６次総合計画策定方針（案）８．デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023改訂版） |
| １．開会 |
|  |  |
| ３．委員紹介 |
| 事務局： | （事務局より各委員を紹介） |
| ４．会長選出 |
| 事務局： | （天理市まち・ひと・しごと創生会議の会長でもある伊藤委員が会長に選出） |
| ５．天理市第６次総合計画の策定（諮問） |
| 市長： | （諮問書読み上げ・授受） |
| ２．市長挨拶 |
| 市長： | ただいま会長に天理市総合計画審議会の皆様への諮問状をお渡しした。会長はじめ委員の皆様方においては本日参集いただき感謝申し上げる。これから諮問案について慎重な審議をよろしくお願いしたい。今回の諮問内容としては第６次総合計画のうち後期基本計画の部分になる。現在の総合計画は2020年から2029年までで、2020年代を本市がどのような姿を目指していくか、歩んできているところである。その際将来像としては、「大和青垣に囲まれた歴史と文化かおる共生都市」と謳っているが、この間にコロナ禍など当時議論していたときには想像もつかなかったような変化があり、社会経済活動が大きな停滞を余儀なくされた。そこから相当諸活動が戻ってきているが、コロナ前の世の中に本当に立ち返ることができるのかというと、状況としては変化しつつあると思う。やはり最大の要素としては人口減少である。これについては各市町村が取組を行う中で、例えばある自治体は転出が多かったとか、子育て施策の上で転入があったとか、そんな話はよく聞くが、社会増減に自然増減を加えると日本社会全体として確実に減少の段階に入ってきている。昨年、我が国で80万人の人口が減っている状況下で、色々な福祉施策を充実させ、特に子育て世帯の負担を軽減することも非常に大事だと思うが、市町村間競争になってそれぞれが経常経費で首が回らないということになると、これは持続可能なまちづくりとは言えない。本市においては、人口のピークで約74,000人だったのが今は約61,000人である。昨年に生まれた子どもの数も382名にとどまったが、今の計画を立てた5年前には400名を切ることはなかった。大体小学校の１学年は500人台中盤ぐらいだったが、去年生まれた子どもたちが５年後に小学校に入る頃には、本市の小学生の数は平成元年比で４割減少する。おそらく令和10年代になると2,000人を切り半分を下回ってくるだろう。ただ一方で、団塊ジュニアの50歳前後の人口は極端には減らないので、今後20～30年くらいは高齢者の人数は維持され、生産年齢人口が大幅に減少すると見込まれる。こういった時代に突入した中、どうすれば持続可能な市民サービスを守っていけるのか、ここからが正念場だと思っている。令和6年度の予算に向けて施政方針を立てているところで、もちろん人口減少を緩やかにするように努力は尽くすのだが、Ｖ字回復を前提にした施策を立てても仕方ない。現実に人が減っていく前提に基づいて、どうしなやかに適応していくか、すなわち「人口減少社会適応都市」というキーワードを、市では掲げつつある。もちろんマーケットとしては縮小してしまうので、市内の商工業者の皆さんからすると「いやそれでは困る」という部分もあると思うが、従来からの老朽化しつつある公共施設をやみくもに統廃合するのではなく、政策間連携をして残すところは残して複合化し、単に併せるのではなく、例えば学校教育と生涯学習、社会教育を掛け算すれば両方にプラスの付加価値を生み出していくことをどんどん進める必要があると思っている。その上で本市は今年市制70周年を迎えるわけだが、先人が育んだ歴史、文化芸術、スポーツといった強みを生かしながら、それをどのようにまちの活力につなげていくか。そういった点について、この審議会にご参集の各界でご活躍の皆さんから忌憚のないご意見を伺いたい。これからの厳しい時代であっても、「天理で生まれてよかった」「天理に安心して暮らし続けよう」というまちでありたいと考えている。どうぞご審議よろしくお願い申し上げる。 |
| ６．案件 |
| 会長： | 今市長から市の今後の方針についてお話があったが、これから審議会で今後５年、１０年先、あるいはもっと先のことを見据えて天理市のあり方をぜひ審議していきたいので、よろしくお願いします。 |
| ６－１．会議の公開、会議録の公表について |
| 事務局： | （説明） |
| 委員： | （異議なしの声） |
| 会長： | 会議の公開、会議録の公表を決定。 |
| ６－２．天理市第６次総合計画策定方針について |
| 事務局： | （ランドブレイン株式会社（以下「LB」）の紹介） |
| LB： | （挨拶） |
| LB： | （資料の説明） |
| 会長： | ただいまの説明内容について、皆さんから意見、質問はあるか。 |
| 委員： | ３．策定のスケジュールの①から③は令和５年９月からスタートしているが、２番目の市民意識調査はいつの調査の分析と考えたらいいか。 |
| LB： | 過年度の市民意識調査については毎年実施されており、満足度、重要度等調査をされているので、経年変化の整理を行っている。また、自由意見の中にも非常に大事な意見があるのではないかということでテキストマイニングから関係性を分析して自由意見の中にどういった意見が含まれているのか分析を進めている。 |
| 委員： | 市民意識調査はどのくらいの人を対象にやっているのか。 |
| 事務局： | 無作為抽出の1,500人を対象にしている。 |
| 委員： | 無作為だったら年齢別にはバランスとれるのか。 |
| 事務局： | 年齢もバランスとりながら抽出している。 |
| 委員： | できれば結果だけでなくどのような形で実施しているのか教えていただきたい。結果だけではなく、調査方法なり内容を。結果はどこかに掲載されているのか。 |
| 事務局： | 集計が終わったら毎年春頃ホームページで公表している。今回は公開するだけでなく、先ほどもあったように経年でコロナ禍も含めてどういった状況で変化が起きているのかというところ分析を進めている。まとまったら報告という形で、本審議会の方でも、資料を提示させていただきたい。 |
| 会長： | 今回、策定方針の中で、５つの考え方示されているが、この内容について質問あるか。 |
| 委員： | 策定方針２の（３）の多様化する社会課題への対応は漠然としている。具体的にイメージされているのは経済なのか、市民の意識なのか色々あると思うが、どういった感じで考えたらよいか。 |
| 事務局： | 現行の総合計画の中にも年表ということで整理をしており、少し遠い将来を見た時に2020年、2030年、2050年、そういった時にどのような社会が訪れるか。特に人口構成、全体で見たときの日本の立ち位置もそうだが、そういった長期的な視点を整理した上で今天理市としてやらなければいけないことはなにかということを見える化できればいいと思っている。例えば今後どんどん人口が増える中で食料をどうするのかとか、国の省庁の方で長期的な視点に立ったビジョンというものを策定しており、そういったものを整理し、長い目で見た中でどういった対策が必要か今回の基本計画の中でも提示できればいいかなと思っている。前回だとSociety5.0とか、少し先の社会として国などが示しているものに対してどういう現状にあるのかというのを整理している。そういったものを提示できればいいと思っている。 |
| 委員： | 策定方針２の（２）の加速化し続ける少子化への対策だが、以前からどこの市でも町でも出生率維持と人口維持のためにどんな努力をするかっていうことが言われているが、これを減るものは仕方がない。少子高齢化になったそのことを考えての対策。これは令和２年の総合計画ができた頃からそういう視点はあったのか。今、人口減少に対応するようになったのか。 |
| 事務局： | 前期総合計画の時はそのようなことは考えておらず移住定住等に関する施策もたくさん載っているので、人口を維持する、もしくは増やしていく方向で施策を打っていたが、昨今の急激な人口減少、特に出生率の低下があるので今から人口減少に適応した都市を目指していくという考えで施策を打っていく。 |
| 委員長： | 策定方針２の（４）のSDGｓの理念を踏まえた更なる取組の推進、先ほど説明があったが、SDGsの件で天理市がSDGs未来都市を目指している。その点に関して少し情報があればお願いしたい。 |
| 事務局： | SDGsについては奈良県内の十津川村、生駒市、三郷町、広陵町がSDGs未来都市に選ばれている状況で、今年度がSDGs未来都市の募集が最終年度である現在天理市では福住地域を中心に、オーガニックビレッジの取組みを進めている。有機農業を中心にオーガニックビレッジの取組みを進めているところや、各小学校での食品残渣の削減の取組みもみんなの学校プロジェクトとして進めているところ。こういった取組みを今後も国の方に申請して、社会的な要素や経済的な要素と繋ぎ合わせて、できたらSDGs未来都市に認定いただけるよう申請書を作成している。 |
| 会長： | また詳しいことがわかれば審議会で報告いただきたい。 |
| 委員： | 策定方針２の（２）の加速化し続ける少子化だが、出生率が低いというのは、結婚された方の子どもが生まれるのが少ないのと合わせて、例えば25歳から35歳ぐらいまでの方で結婚されない、そのために少子化に影響していると、その辺の分析はあるのか？適齢期の方が結婚されない方が非常に多いのではないかと。いつと比べてといった具体的なことはわからないけど、もし多ければそれの対策も大きな課題だと思うが。 |
| LB： | 未婚率というのも国勢調査で数字は把握できる。そういったものを時系列で整理する中でやはりご指摘の通り未婚の方が多い。実は天理市だけで見ると多子世帯が多い。ただ、結婚されてない方とかのトータルでいうと合計特殊出生率ということで、15歳から49歳の女性から生まれる子供の数ということで言うと低くなるが、実際子どもがおられる方というのは多子世帯が天理市には多いという特徴があるので、そういうところも分析をしながら、どういった施策が必要なのかということも分析を進めているので、また報告できたらと思う。 |
| 委員： | 人口が減っていくという大前提でやるしかないということになると労働力が減ってくる。そしたら政府が言うように女性の方の活躍を、と思って読んでみたが、あまり書かれていない。まず女性の活躍と高齢のいわゆる普通だと引退という方のもうひとがんばりという部分をどこかにいれていただけたらなと思う。 |
| 事務局： | 今ご意見いただいた女性の活躍、女性の働く場の創出。それと高齢者のまだ働ける方の雇用は検討の余地まだまだあるので反映していきたい。 |
| 委員： | 色んな形でデータとか数字とかというのがあるが、それを分析するのもこの審議委員の役割と思う。アンケート調査は、割と抽象的な言葉「満足している」などだが、本当はもっと詳細なデータを把握して、それで将来的にはその人口分布が見えたら、どういうふうな形になるかもっと予測できると思う。そういったところを調査、数字を的確に出してもらって我々が色んなことを決める時にそのデータを元にきっちりと施策を作ってもらえたら天理市に合ったものができるのではと思う。 |
| 会長： | 事業を担当しているランドブレインにお願いしたい。アンケート等、いろんなデータがあるけど、それを分析して、我々が施策について考える時に参考になるようなデータをご提示いただければ助かるが。ただ結果だけ見せられると、なかなかわからない。判断できるような形で、ご提示いただければ、有効な意見が出てくると思うのでお願いしたい。 |
| 委員： | 市民意識調査がされると伺っているが、市民の皆さんから意識の調査だけでなく、様々な考え、思い、アイディア、そんなものを引き上げるような、そういうところがあるのか。ここに委員の皆さまおられるが、ほとんど男性の方で年齢層が高いが、多くの人の意見が反映される、そういうところは考えられているか？ |
| 事務局： | 来年度スケジュールの中にあるように、アンケートで実施を行いその中で意見はしっかり把握できると思っている。先ほどテキストマイニングということで説明したが、設問をして選択してもらって答えるアンケートとは別に自由意見の中にも市民の方々の意向であったり考えであったりが非常にたくさんあるということでその中からテキストマイニングで関係性の高い言葉を抽出して市民の方がどういったことを求めているのか分析をしている。そういったところからも、市民の方の希望や意見というものを抽出してお示しできればと考えている。 |
| 事務局： | 補足になるが、天理市では転出入、どういった事情で天理市を転出されるのか、どういった事情で転入されてきたのか、市民課において10月からアンケートを実施している。また、乳児健診などで保健センターに来られるがその時に第２子以降の出産希望について、どういうことが弊害になっているのかなども調査している。 |
| 委員： | 策定方針２の（３）の多様化する社会課題への対応の中で、潜在的な課題を早期に発見するとある。今アンケートの話も出たが、それをどのように使って潜在的な天理市としての課題を抽出しようとしているのか教えてほしい。 |
| 会長： | ここにあるのは社会全体の話だが、実は天理市の地域課題と言いたいのだと思う。具体的に天理市としてどんなことが課題になっているのかということか。 |
| 委員： | 例えば食料難の問題が出てくる。天理市も農業をどうしていくのか、天理市の自給率がどれだけあってどうしていくのか。また安全安心の中で子どもに天理市の農産物をどう与えていくのか。そういう問題を取り上げたかったのだが、どう調べていくのか。そこまで考えておられるかどうか。進める中で検討いただければと思う。 |
| 事務局： | 前期総合計画の中の総合戦略の方は毎年会議をしており、各課の施策について進捗状況を目標値と比較している。例えば新規就農や耕作放棄地についても毎年調査しており、会議の場で意見を積み上げていきたいと思う。今後もっと審議していきたい。 |
| 委員： | 第２期天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略の会議があったが、５年間経って委員や会議の名称が変更となって、この会議に変わるのか。 |
| 事務局： | まち・ひと・しごと創生会議は１年に１度、検証する会議として、総合戦略の進捗状況や次年度のKPIなどを立てるための会議である。毎年10月～11月くらいに開催している。 |
| 委員： | それとこの会議は関連性があるだけで全く別のものか。 |
| 会長： | 私は実は総合戦略の方の会長も務めているが、総合計画の会議というのは全般的に天理市の将来のことを検討する会議になる。総合戦略の会議はその中で特に重点的な政策施策を検討する会議になっている。この会議のメンバーのかなりの方が総合戦略の会議のメンバーで両方の委員を兼ねていただいている。ここは総合戦略の特定の戦略だけ議論するのではなく、天理市全体のこと、将来について検討するために参加していただいている。委員がおっしゃるように別々のものがあるんじゃないかと思われるかもしれないが、ここに含まれている。別の話をしているのではない。総合戦略の方は、重点的な施策・課題を具体的に検討する。その成果とこの総合計画の成果がずれないよう合わせて議論していく。 |
| 委員： | 先ほどのアンケートの件でも、本当に市民の声が反映されているのかとの意見もあったと思う。アンケートのとり方ももう少し考えていただきたい。 |
| 会長： | アンケートの件は、確かに100％市民の意見が反映されているかというとそうではない。たまたま抽出されて答えられた方の意見になる。それをベースにして分析し、本当の市民のニーズを考えて政策に生かしていくのが我々の役割だと思う。そういう意味で分析の仕方は大事なところである。こういうデータからこういう課題が見えてきて、こういう方向性で、施策政策を検討すれば天理市が良くなるか、我々がいろんな立場で意見を述べてまとめていくのだと思う。その他ご意見は無いか。無いようなら、これで第１回目の審議会を終了とするので、事務局へお返しする。 |
| 事務局： | 本日はお忙しい中、ご出席ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 |